



## おかむら通信 第66号

平成22年10月

皆様、急激に冷え込んでいます、最近お風邪をひかれる方が増えていますよ、体にお気をつけくださいね。働いても働いても何かどこかがぬけていくようです。成果はあげているのですが、疲れが残る一方です。辛いけれどこの日本の現在の有様をしっかりと見据え、将来にむかってすべきことを少しづつでもしてゆかねば、と考える今日この頃です。

### 院長より

- ① 最近、手術などが必要な疾患が発見されたため、病院への紹介が増えてきています。比較的遠いところだと、患者さんのほうで、それっきり当院にかかれなくなったり、病院同士の連絡や、特にかかったところから当院に連絡が来ているのか心配されることがあります。大丈夫です、必ずお返事が来ますし、大変な病気であればあるほど、手術内容や、病理組織検査などきちんと報告をもらっています。医療機関同士の情報交換はしっかりしていますので、ご安心ください。
- ② 当院の方針があります。ご確認ください。たとえば、新患でつまり初めてかかる患者さんの場合、ドアを開けて診察室にはいられた時から皆様の全身状態、存在する疾病の予測が始まっています。触診したり、お話ししたりする中で、すでに院長が頭に描いている疾患の確認をしています。血液検査、画像診断は確認作業になります。したがって治療の開始が早いのではと驚かれることがあると思います。
- ③ 数ヶ月前、七転八倒し、腹痛を訴えられて診療時間ぎりぎりまで飛び込まれた男性が診察の直後、すぐに点滴などの治療を始めようとしたところ、痛みを止める薬だけもらえればいいんだ、と大騒ぎされ帰られてしまったことがありました。つまり治療行為が早いので診療パターンが理解できなかったようです。
- ④ そしてもう一つ、慢性疾患の場合、将来発生しうる病態をできるだけ早く把握することにしています。そうすると患者さんは、いま自覚症状がないのにピンとこないことがあると思います。これはいわゆる病気が発生する前にその気配を察知し先に手を打つ、ということなのです。

高血圧症、糖尿病、心筋梗塞、狭心症、慢性閉塞性肺疾患のような疾患は、大体その後の経過が見える場合が多いものです。





皆様の中にはもう 15 年もおつきあいしている方々もおられますが、病気が発生する前に、生活習慣の指導、食事、運動について、理解していただきながら治療も行い、将来絶対に寝たきりにならないようにして差し上げるのが、われわれの務めと考えております。

- ⑤ 再び、ごめんなさい。さらに、重症の患者さんや、精神科疾患の方がよく来られます。そのために診療にさらに時間がかかっています。待ち時間が日によってとても長くなり、ご迷惑をおかけしています。総合診療を旨とする当院の姿勢、多くの疾患をみ、重い病気を発見し、まだ発生していない病気の手当てを行うやり方がそうさせているのかもしれない。
- ⑥ いま、医療への長く続いた政策のために（おそらく皆様はそんなに感じていませんね）、医者数は人口に対し少なくなり、医療機関への診療報酬は減り、開業医への不信感をつのらせています。したがって患者さんのために行うさまざまな投資（スタッフをそろえること、毎年進歩する医療機械など）も限界かもしれません。さんざんです。どうかかしてもらいたいですね。

#### 院長の仕事コーナー 9月

- 6/ 夜 小講演 「千葉県の医療IT化の現状と松戸市EMIネットの市外への進展」について 市内の某企業内にて
- 9/ 夕方 千葉県医師会医療情報システム委員会 副委員長として 新しい各地域の代表の先生方と、 千葉県医師会にて
- 14/ 夜 インドのIT専門家と懇談、 海外と日本の医療事情について 当院にて
- 15/ 夜 松戸市医師会 認知症勉強会 聖徳大学にて
- 20/ 夜 松戸市小児夜間急病センター 当直 松戸市立病院にて
- 21/ 夜 千葉県医療機関IT検討会議 医療情報ITネットのシステムについてEMIネット・他大手2社との競り合いとなる 千葉大学病院内にて

当院のホームページアドレスは、 [www.okamuraclinic.com](http://www.okamuraclinic.com) です。

ようやく秋らしくなってきました。

秋といえば 読書の秋、スポーツの秋、そして 食欲の秋…。

食べものがおいしい季節ですが、くれぐれも

食べ過ぎには 気をつけて下さいね。

(今年度の当院のスローガンは「メタボをどうにかしよう」ですので…) 担当は 古谷でした♪

